

# 健康ガイド 9月

■対象：全域 申し込み・問い合わせ 健康課保健係・予防係(保健福祉センター内)☎内線76204、76207

種目	実施月日	受付時間	対象者など	場所
市民献血	9月28日(金)	午前10時~正午 午後1時~4時	16~69歳(65歳以上の人は、60から64歳までの間に献血経験がある人に限ります)	市役所市民ホール
にこにこ健康相談	9月14日(金)	午前10時~11時30分	保健師・栄養士の個別相談 ○各種測定や食事相談など	市役所市民ホール
禁煙相談	月~金曜日 (祝日を除く)	午前9時~午後4時	効果的な禁煙方法を紹介 ○禁煙意志がある喫煙者とその家族など	保健福祉センター
母子健康手帳交付		午前8時30分~11時30分	妊娠届出書を持参してください ※時間に余裕を持ってお越しください	
マタニティセミナー	9月はお休みです			

問い合わせ 高齢福祉課介護予防係(東原庁舎内)☎内線77271・77272

ふれあい健康相談	9月はお休みです		
すこやか健康相談	9月20日(木)	午後1時30分~3時	血圧測定・握力測定 白沢健康福祉センター

申し込み・問い合わせ 沼田市地域包括支援センター・高齢福祉課介護予防係(東原庁舎内)☎1112(直通)

あつぶりんカフェ	9月27日(木)	午前9時30分~正午	認知症の人や家族、地域の人など、誰でも気軽に寄って集える場所です。相談も受け付けます	保健福祉センター 3階研修室
----------	----------	------------	--	----------------

■対象：全域 問い合わせ 健康課保健係(保健福祉センター内)☎内線76204

健康診査	健康診査	実施月日	受付時間	対象者など	場所
健康診査	4カ月児	9月26日(水)	午後1時~1時30分	平成30年5月生まれ	保健福祉センター
	10カ月児	9月11日(火)	午後0時45分~1時15分	平成29年11月生まれ	
	1歳6カ月児	9月4日(火)	午後1時~1時45分	平成29年2月5日~2月28日生まれ	
	2歳児歯科	9月27日(木)	午後1時~1時45分	平成28年9月生まれ	
育児相談	3歳児	9月12日(水)	午後0時45分~1時30分	平成27年6月10日~6月30日生まれ	保健福祉センター
	エンゼルクラブ	9月7日(金)	午前9時30分~11時	乳児(1歳未満)	
	わんぱくクラブ	9月はお休みです			
育児相談	ベビーマッサージ	9月25日(火)	午後1時30分~3時(要予約)	初めての乳児(生後3~6カ月)と保護者(先着12組) 申込期間：9月3日(月)~18日(火)	保健福祉センター

## 募集

## 篤志

(敬称略)

お互いさまのまちづくり勉強会  
90歳や100歳になっても地域とのつながりを持って元気で暮らし続けるために勉強会を、中学校ごとに生活支援コーディネーター(地域の在宅介護支援センターの相談員と一緒に取り組むを進めています。ぜひ、ご参加ください。  
とき 8月23日(木)午後2時  
ところ 中央公民館3階第1講義室

社会福祉事業へ  
テーマ 居場所づくり  
勉強会名 まちなかきずなの会  
学校区 南中学校区(東倉内町、西倉内町、上之町、馬喰町、中町、坊新田町、下之町、鍛冶町)  
申し込み 不要(直接会場へお越しください)  
問い合わせ 地域包括支援センター(東原庁舎内)☎1112

▽沼田市邦楽協会鍛冶町 7万円  
▽阿左見達昭(沼須町) 11万円  
沼田総本店(岡谷町) 20万円  
沼田視覚障害者福祉協会・沼田鍼灸マッサージ師会(下久屋町) 6000円  
▽生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会群馬県協会(高崎市) ↓タオル20本  
沼田市社交ダンス研究会(沼須町) ↓3万円



【広告】

【広告】

# ぬまた歴史探訪 145

沼田市文化財調査委員 金井 竹徳

「上発知の踊り」と評判され、池田地区はもとより近郷各地から観衆が押しつけ、熱狂したといわれる上発知町歌舞伎。熱演や歓喜の響きが消えて久しいが、主役を支えた舞台は、坊坂の諏訪神社と武尊神社が合祀された鎮守の森に、今なお農村芸能の誇りとして残される。豪華な衣装、隈取り、オリーブリアクション、独特な言い回し、人情を細やかに描く歌舞伎は、庶民のための娯楽であり人々の心を大きく捉えた。この建物は、そんな大衆娯楽の貴重な証しとしての遺構である。建物は、地元の総意を結集し、棟梁星野の瀧次郎が明治32(1899)年に、江戸時代からあつた舞殿を改装建造したものとされる。舞台は、間口五間、奥行二間の二重舞台が基本であるが、奥行二間の二重舞台が基本的な場の転換、迷やかな場の使用の軌道を舞台上に設けた。二重の部分があり、奥から観る。



舞台上に走る追出し軌道

という回転する十尺四方の追出し廻し車の舞台三台が、せり出し軌道により舞台に引き出されるといった特殊な工夫が成されている。また、床下からの「せり上がり」、下手に「花道」が造られた跡も見ることが出来る。平面図や舞台の附属品の一覧から、二重舞台には金襴や唐骨障子が配置され、舞台前面には大幕が張られ、場面の興行を演出する遠見幕などが公演に使われていたことが分かる。明治33(1900)年舞台完成の翌年、6日間に42幕という驚異的な興行が行われたとある。演日は現在でも人気の「太功記」「鎌倉三代記」「守子屋」「安達三」など。義理人情の悲劇が演じられた。百年以上の歳月を越えても、威厳を保ち、諏訪、武尊の両社に堂々と峙つて上発知町歌舞伎舞台。「舞殿に集う氏子や菊薫る」地踊りにせりふ忘れて初舞台」。正面上部に飾られる昭和52(1977)年の俳額に「こんな句が見られた。太鼓や三味線の賑わいが懐かしい」。



神社から見る歌舞伎舞台

農村芸能の名残

## 上発知町歌舞伎舞台

(上発知町坊坂)

【広告】

【広告】